



2019 年度 環境経営レポート

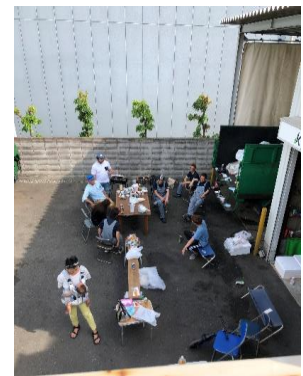
(対象期間 2019 年5月1日～ 2020 年4月30日)



きれいたん

目 次

項 目	ページ
あいさつ	
環境経営方針	
組織の概要	
事業・製品の紹介	
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	
主な環境負荷の実績	
環境経営目標及びその実績	
環境経営計画の取組結果とその評価	
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	
緊急事態対応訓練	
代表者による全体の評価と見直し・指示	
これまでの環境活動の紹介	



□ごあいさつ

近年、プラスチックごみが海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、地球規模で問題となる中、また、新型コロナウイルス感染拡大が、世界経済が大きな影響を受ける中で、環境衛生に配慮した地域経済の活性化、地域の活力を再生する取り組みが行われることが急務となります。そのため、持続可能な低炭素社会システムの構築が課題となっております。

当社は創業昭和29年と大阪市で最も古い廃棄物処理業者の一つで、長年の経験と実績を兼ね備えた企業として、このエコアクション21における環境マネジメントシステムを構築するとともに、経済と自然が共生する持続可能な低炭素社会システムの実現に貢献し、地球環境保全に寄与して参ります。

環境経営方針

<環境経営理念>

経済と自然が共生する持続可能な低炭素社会システムの実現のため、本業である廃棄物処理業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 廃棄物処理法及び大阪市条例、その他関係法令を遵守いたします。
2. 電力及び自動車燃料に伴うCO2の削減に努めます。
3. 資源を大切にするとともに廃棄物の削減に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した物品の購入を推進します。
6. 受託廃棄物の再資源化に取り組みます。
7. 会社周辺の清掃活動等地域貢献活動を行います。
8. この方針を全従業員に周知します。

制定日：2015年6月1日

代表取締役 **泉原 久人**

□組織の概要

更新日：2020年9月2日

(1) 名称及び代表者名

勝産業株式会社
代表取締役社長 泉原 久人

(2) 所在地

本店 大阪府大阪市此花区春日出北一丁目20番3号
 佃営業所 大阪府大阪市西淀川区佃六丁目5番24号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 所長 福島康夫 TEL：06-6195-8654
 担当者 所長 福島康夫 TEL：06-6195-8654

(4) 事業内容

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、古物商、金属くず商

(5) 事業の規模

法人設立 1974年5月1日
 資本金 1,000 万円
 売上高 11,887 万円

	本社	佃営業所	佃リサイクルデポ
従業員	-	9名	-
延べ床面積	30 m ²	71.51 m ²	17.76 m ²

受託した廃棄物の収集運搬量

一般廃棄物 ごみ	1,795 t		
一般廃棄物 古紙	710 t		
産業廃棄物 飲料容器	26 t		
産業廃棄物 廃プラスチック類	70 t		
産業廃棄物 混合	235 t		
産業廃棄物 木くず	15 t		
産業廃棄物 廃蛍光管	1 t		
合計	2,853 t	うち再資源化量	940 t

車両

車種	車番	最大積載量	備考
軽トラック	なにわ480か6965	350 kg	
2tパッカー車	なにわ800す6578	2,000 kg	
3tパッカー車	なにわ800す8945	2,350 kg	計量器付き
3tパッカー車	なにわ800す9770	3,000 kg	
3tパッカー車	なにわ800す5360	3,050 kg	計量器付き
3tパッカー車	なにわ800す7688	2,450 kg	計量器付き
4tパッカー車	なにわ800す2954	1,950 kg	
4tパッカー車	なにわ800す2470	1,660 kg	
3tダンプ車	なにわ100さ7334	3,000 kg	
合計	9台		

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
佃リサイクルデポ	17.7 m ²	18.0 m	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 勝産業株式会社
 対象事業所： 本店（登記上）
 佃営業所
 対象外： なし
 活動： 一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、古物商、金属くず商

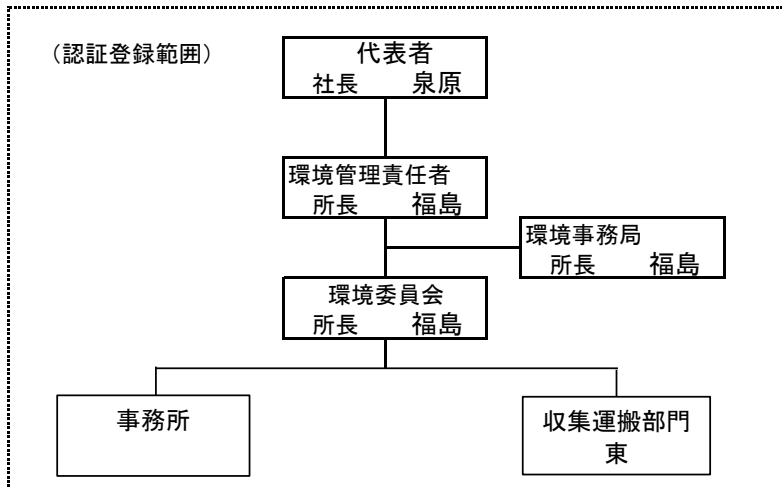
□事業の紹介

一般廃棄物収集運搬業・産業廃棄物収集運搬業



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年9月2日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
大阪市	第020-000号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

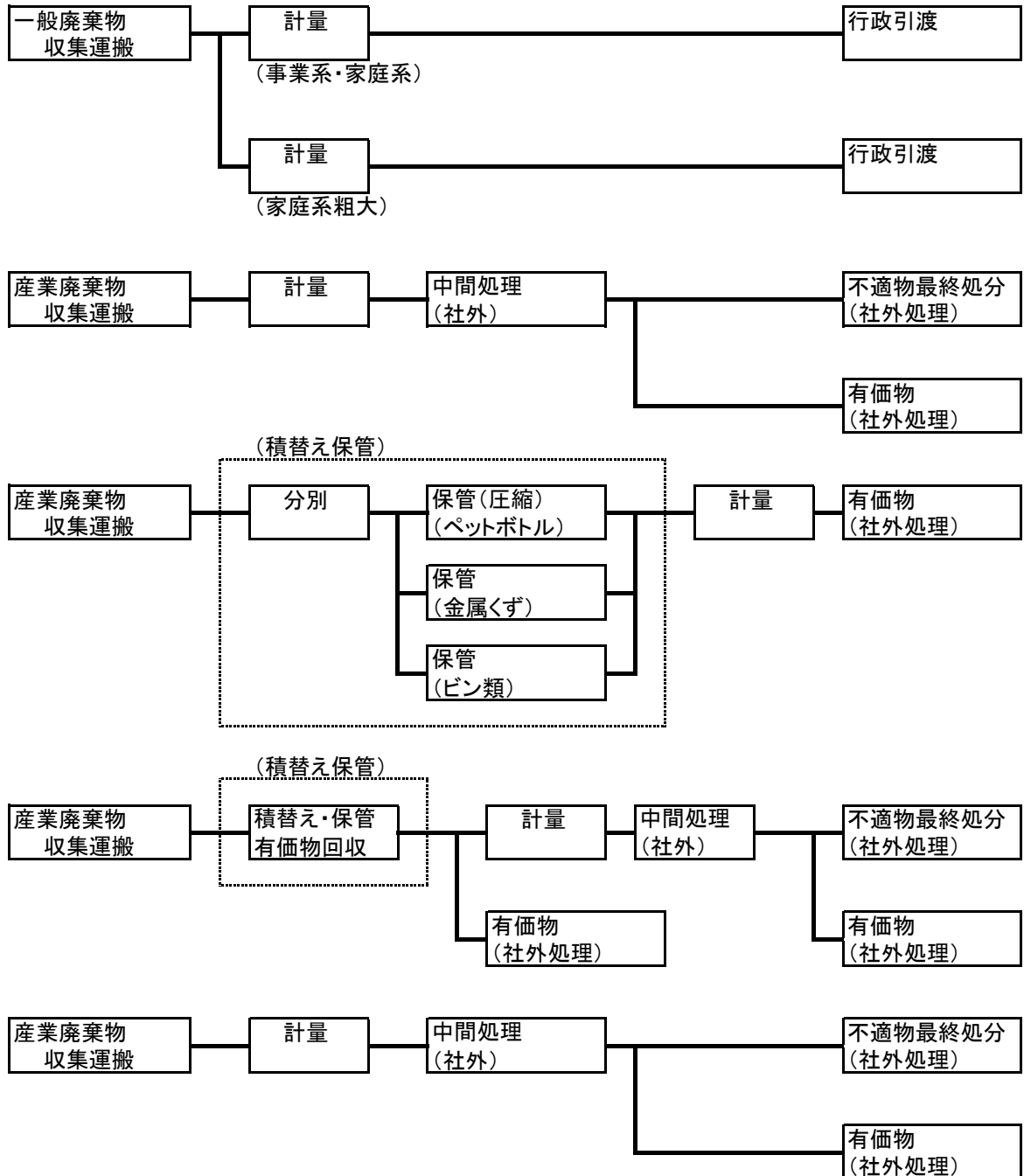
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類												
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラスくず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず
大阪市	第6610021808号	令和1年8月2日	令和6年7月8日	有	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎	○
大阪府	第02700021808号	平成29年10月24日	令和4年10月23日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	第02801021808号	平成30年1月25日	令和5年1月24日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※◎は積替え保管できる品目です。

その他許可の内容

種類	許可番号	許可年月日	発行者	備考
古物商	第621140143264号	平成26年6月9日	大阪府公安委員会	
金属くず商	第3265号	平成26年6月9日	大阪府公安委員会	

□ 廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	116,308	125,507	129,830
受託収集運搬量	トン	1,706	2,073	2,850
受託中間処理量	トン	0	0	0
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	kg	231	241	185
一般廃棄物排出量	kg	231	241	185
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
総排水量	m ³	165	149	120

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2019年		評価	2020年	2021年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,187	4,145	4,442	×	4,103	4,061
	基準年度比	2018年	99%	106%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	61	61	54	○	60	59
	基準年度比	2018年	99%	88%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	121,259	120,046	125,333	×	118,834	117,621
	基準年度比	2018年	99%	103%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	125,507	124,252	129,830		122,997	121,742
一般廃棄物の削減	kg	240	238	185	○	235	233
	基準年度比	2018年	99%	77%		98%	97%
受託廃棄物のリサイクル	%	32%	33%	33%	×	34%	35%
水道水の削減	m ³	149	148	120	○	146	145
	基準年度比	2018年	99%	81%		98%	97%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による)						

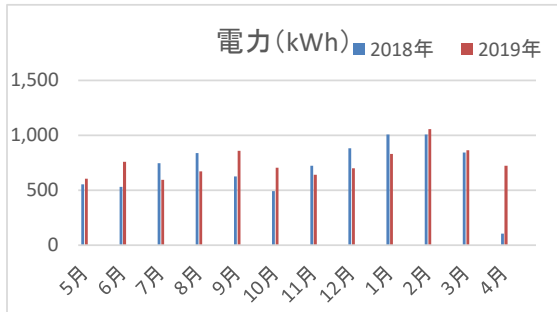
※関西電力二酸化炭素排出係数：0.493kg-CO₂/kWh（2016年度調整後）

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	達成する月もあるが、年間通しては未達。取組み効果は出ている。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・ノー残業デーの実施	×	
・生産工程の待機時間短縮	×	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



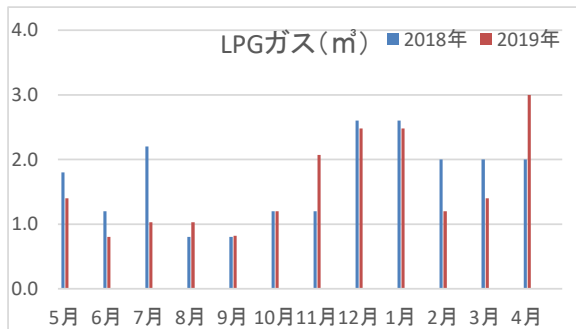
取組紹介欄



節電表示による啓蒙化

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2018年	554	530	747	839	625	491	724	881	1,008	1,008	843	104
2019年	604	759	596	673	859	705	641	700	832	1,056	863	723

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間通して達成している。来期も期待できる。
・ボイラ・加熱炉の空気比	○	
・蒸気・温水配管の保温修理	×	
・温水温度の適正化	△	
・		



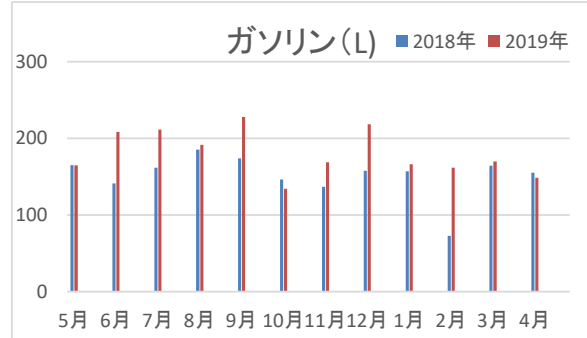
取組紹介欄



節ガス表示による啓蒙化

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2018年	1.8	1.2	2.2	0.8	0.8	1.2	1.2	2.6	2.6	2.0	2.0	2.0
2019年	1.4	0.8	1.0	1.0	0.8	1.2	2.1	2.5	2.5	1.2	1.4	3.0

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	仕事量増加に伴い使用量としては未達。燃費(軽油)は達成できているので、効率化の効果はでている。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	△	
・エリア別営業活動の見直し	○	

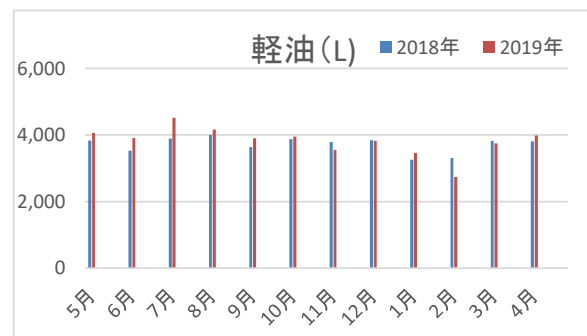


取組紹介欄



ハイブリッド車の導入

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2018年	165	141	162	185	174	146	137	158	157	73	164	155
2019年	165	208	211	191	228	134	169	218	166	162	170	149



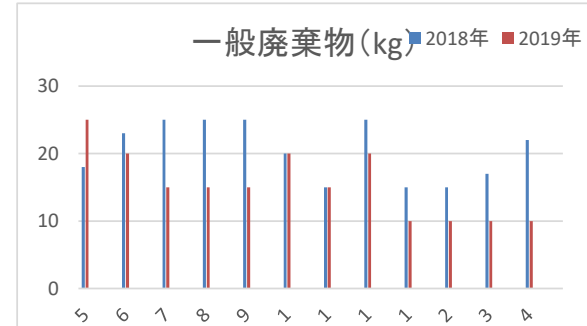
取組紹介欄



分別ボックス車による効率化

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2018年	3,830	3,527	3,896	4,004	3,635	3,872	3,792	3,844	3,257	3,312	3,824	3,805
2019年	4,064	3,913	4,515	4,167	3,901	3,954	3,551	3,828	3,462	2,744	3,753	3,985

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	1年間通して達成。継続したい。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	×	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄



古紙回収による一般廃棄物の削減

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2018年	18	23	25	25	25	20	15	25	15	15	17	22
2019年	25	20	15	15	15	20	15	20	10	10	10	10

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	年間通して未達だが、年度末に効果が出てきた。来期に期待できる。
・排出先の分別徹底の依頼	△	
・選別の徹底	×	
・リサイクル先の開拓	○	
・リサイクル案件の大型受注	○	

取組紹介欄



リサイクル案件の受注拡大

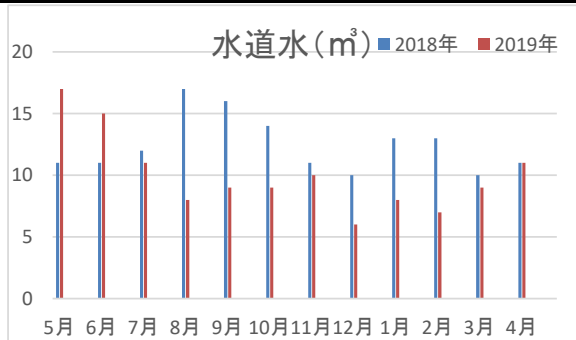


リサイクル先の開拓



分別ボックス車によるリサイクル率向上

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間通して達成している。来期も期待できる。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	×	
・自動水栓取り付け	×	
・トイレに擬音装置取り付け	×	



取組紹介欄



節水表示による啓蒙化

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2018年	11	11	12	17	16	14	11	10	13	13	10	11
2019年	17	15	11	8	9	9	10	6	8	7	9	11

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間通して達成している。来期も期待できる。
・有害性の少ない資材の購入	○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	×	
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	○	

取組紹介欄



ハイブリッド車の購入



低燃費車の購入

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検	○	年間通して達成している。効率化の効果と思われる。
・エコドライブの推進（燃料使用量は別項目で実施）	○	
・積み残しの削減	△	
・車両の清掃	△	

取組紹介欄



低燃費車の購入



分別ボックス設置



計量器設置

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)
大阪府条例（流入車規制）	収集運搬車
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	煮湯設備、洗浄設備
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	場内走行速度制限、ヘルメット着用、車輪止めの設置、マスク・蛍光ベストの着用

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態の想定： 事務所火災の発生

■実施日： 2020/9/1	■実施場所 佃営業所
■参加者： 泉原、福島、東、大原、築紫、高岩、勝井、	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 迅速に避難することができました。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

■実施状況の様子



緊急事態の想定： 車両火災の発生

■実施日： 2020/9/1	■実施場所 佃営業所
■参加者： 泉原、福島、東、大原、築紫、高岩、勝井、	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 迅速に消化作業を行うことができました。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

■実施状況の様子



□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年9月2日

【前回の指示への取組結果】	
＜情報＞	＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等)	◇環境方針 SDGsの推進を追記する。
◇環境経営目標・計画の達成状況	◇環境経営目標・環境経営計画 燃費の取組みを強調する。
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等	◇実施体制他 変更なし

長年の課題であった車両燃料(軽油)による二酸化炭素排出量の削減は、仕事量増加により未達となるが、作業効率を高める取組みによる燃費の向上は達成し、リサイクル案件の受注拡大による受託廃棄物の再資源化は進みつつあります。また、働き方改革の推進も進み、スタッフのワークライフバランスのとれた運営が可能となり、持続可能な企業として1年間従事することができました。来期も期待できます。

また、環境経営方針にもある「持続可能な低炭素社会の実現」にむけ、来期はSDGs「Sustainable Development Goals」の推進にも取り組みます。

- | | | |
|-----------|--|--|
| 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

□これまでの環境活動の紹介



清掃活動



節水節電節ガス推進



ハイブリッド車導入



低燃費車導入

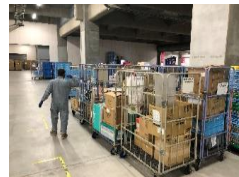
★収集運搬の効率化



災害廃棄物の処理



物流センターなど大量処理案件の拡大



リサイクル案件の拡大

★リサイクル案件のバリエーションの拡大



古紙ダンボール



廃プラスチック類



廃蛍光管



スクラップ



家電リサイクル



機密文書

□編集後記

今年も環境経営レポートの作成を迎えました。例年であればこれから夏本番で、仕事にプライベートに活動が活発になるところですが、今年はひっそりと過ごすことになりそうです。コロナ禍の一年がこれまでの生活を見直し、リセットする機会になれば、無駄な一年ではなかったと言えるかも知れません。それは間違ってもお役所の言うところの新たな生活様式などではありません。感染防止に翻弄されるのではなく、人生と社会の行く末を冷静に見つめ直す機会にしたいものです。

次号は、「SDGs(サステナブル デベロップメント ゴールズ)の推進」を追加し、環境方針を初めて改定する予定です。